

1464

258

記

客年春決行セラレタル浙東作戰ニ依リ舟山列島、杭州灣沿岸一帯ノ製鹽地帯カ我カ軍ニ制セラレテ以來敵側ニ對スル斷鹽工作ハ逐次強化セラレツツアル爲敵側ノ食鹽ノ不足ニ依ル軍民ノ痛苦ハ言テ絶スルモノノ如ク軍官民舉ケテ食鹽入手ニ努力シアル状態ニシテ我カ方ニ於テハ其後更ニ斷鹽工作強化ナル爲敵重慶政府ニ於テハ之カ打開策ニ應シ參謀總長白崇禧ヲ二月末頃金華ニ派シ第<sup>以テ</sup>三戰區ニ於ケル製鹽地帯ノ奪回ヲ企圖シ各軍ヲ督戰スル反面紹興警備隊前面ニアル敵暫編第三〇師ニ對シテハ目下金華ニ於テ訓練中ノ補充部隊ヲ以テ増強ヲ計ルヘク準備中ノ如ク最近紹興、余姚方面ノ敵ノ行動極メテ活潑化シ來リツツアリ

在杭州日本領事館

0 267

1464

秘

弘報部長

機密

五六  
17.5.25  
庶務

秘第二一八號  
昭和十七年五月八日

在杭州

領事 田中繁三

外務大臣 東郷茂徳殿

米國機ノ本土空襲ニ對スル敵紙ノ論說譯報ニ關スル件

昭和十七年四月十八日米國空軍ノ日本本土空襲ニ關シ敵側東南日報(浙江省金華)四月十九日論說左ノ通譯報ス

米國空軍ノ東京遠征

在杭州日本領事館

0 268

大東亞戰爭勃發以來吾人ヲ失望セシメタルコトハ枚擧ニ違フク即チ其ノ原因ハ

一 同盟國ノ米英カ戰略ヲ誤ツタコト

二 同盟國カ戰爭ニ對スル準備不充分ナル爲遂ニ敵ニ機先ヲ制セラレタコト

此ノ二點ニ依ルモノナリ

吾人ハ各同盟國カ一致協力ヲ以テセハ斯カル頭初ノ失敗ハ完全ニ回復シ得タルモノナリ其ノ證據トシテ鞏固ナル兵器工廠ハ我民主國家ニ歸シアリ故ニ戰爭長期ニ亘ルニ隨ヒ其ノ軍備ニ依リ最後ノ勝利ハ我々同盟國ニアリ且這般米國空軍ノ東京空襲ノ壯舉ハ是等事實ヲ立證シテ餘リアリト云フヘシ

今回米國空軍ノ東京、横濱、神戸、名古屋等ノ空爆ハ各所ニ大火災發生セシメタリ我國ノ空軍カ敵本土ニ數百萬ノ紙彈ヲ投下シテ以來二回目ノ壯舉ナリ敵本土人民カ爆彈ノ苦味ヲ嘗メタルハ頭初ナリト

在杭州日本領事館

雖其ノ影響甚大ナリト謂フヘシ今次米軍空襲部隊ハ其ノ出動機數過少ニ依リ爆撃地域廣大ナラサルモ絶大ナル効果ヲ得タルモノト認ム

第一今次爆撃ハ我々同盟國ノ底力ヲ着々發揮スヘキ好個ノ條件ナリ吾人ハ斯ク斷定ス即チ米機ハ緒戰ニ於テハ沈黙ヲ固守シアリタルモ開戰茲ニ四ヶ月半ヲ閱シタル今日然カモ數千里ヲ距リアルニ係ラス此ノ壯舉ニ出タルハ寧ロ粘着力ノ發露ナリト云フヘク要スルニ米國ノ眞ノ力量ハ延イテハ吾々同盟國ノ力量ナルニ於テ多言ヲ要セス

第二ニ之等ハ我同盟國ノ攻勢ニ出テタル前提ナリ我同盟國ハ其ノ實力ニ於テ決シテ敵ニ讓ラス然ルニ現在迄繰返セシ敗因ハ一律ニ防禦戰ヲ採リタルニ因ルサレト米英カ今日迄全力ヲ傾注シテ敵ニ反撃ヲ加ヘ得サルハ事實ナル困難性アリタルモノナリ然シ米國ハ緒戰ニ於ケル敗戰ヲ一舉ニ挽回セントスルハ早計ナリトハ云ヘ蘭印及緬甸ノ大部分カ陥落シ且印度、濠洲ノ事態逼迫セル今日ニ於テハ所詮攻勢ニ過クルハ無ク同盟國有識者間ノ熱烈ナル要望モ茲ニ存ス

在杭州日本領事館

第三ニ敵空軍ノ衰退ニ引換ヘ我同盟國軍ノ優勢ヲ如實ニ裏書スルモノナリ現代戰ニ於ケル立體戰術ハ特ニ空軍ノ緊要性ヲ痛感セシメル友邦軍事研究家ノ言ヲ待ツ迄モ無ク我同盟軍カ馬來、新加坡、蘭印緬甸方面ニ於テ陣地ノ變換ヲ餘儀ナクセルノモ實ニ敵ノ空軍優勢ニ起因ス然シ之等モ本回ノ米軍空襲ニ依リ完全ニ一擲サレ且最近「ロロンボ」ヤ「フィリピン」等ノ勝利ト相俟テ敵ノ動搖モ深刻性ヲ加ヘタリ

第四吾人ハ斯ク知ルヘキナリ大東亞戰緒戰ニ於ケル民主國家兵器廠ノ業績香シカラサルモ之等ハ決シテ意外ナルコトニ非ス即チ一九三九年ニ於ケル米國ノ軍用機出產額ハ二千四百四十一臺一九四〇年ニハ稍増產ヲ見タルト雖モ十二月分ノ出產ハ七百九十九臺ニ過キス之ヲ獨逸ノ月均二千五百臺乃至三千臺ニ比スレハ相當ノ懸隔アリ日本ト比較シテモ同様ナリ然ルニ爾來米國ハ増產計畫ヲ樹立本年六月ヨリ向フ二ヶ年間ニ四萬臺ヲ出產スル豫定ナリ此ノ中三十五パーセント

在杭州日本領事館

英國ニ供給スヘク準備ヲ整ヘタルモ未タ生産機構調整無キ爲停頓シアル狀態ナリ然レ共現在米國ノ増產計畫機構ノ整備ヲ見タルトキハ一月平均千臺ハ可能ナルヘシ大砲、戰車ノ輸送ハ困難トハ云ヘ飛行機ノ増援ハ比較的早急ナリ吾人ハ米國ノ増產計畫ハ順調ニ進行シ民主國家ノ兵器廠タルコトヲ強ク信スルモノナリ

第五之レハ敵國ノ人民ニ對シテ心理上一ツノ致命的打撃ヲ與ヘタルモノナリ日本ノ人民カ軍閥ノ驅使ニ甘スルハ完全ニ一箇ノ政略ニ麻酔サレアルモノナリ然シ東京、横濱、神戸、名古屋上空ニ於ケル鐵彈ハ必ス日本人民ニ對シ軍閥ノ政略タル「家ヲ破リ人ヲ亡ス」ノ真相ヲ痛感セシメタルモノナリ

中國ハ夙ニ紙彈ヲ以テ彼等ニ警告告戒與ヘタ米國ノ鐵彈ハ更ニ彼等ニ無情ノ教訓ヲ與ヘタノタ友邦米國カ東京爆撃ヲシタルノハ決シテ單ナル報復的手段ニアラス只日本人民カ戰爭ノ愚ナル迷夢ヨリ醒メ我等ト共同戰線ニ立ツコトヲ冀求センカ爲ナリ

在杭州日本領事館

265  
金華情  
情杭州

秘 464

外務大臣 東郷 茂徳 殿

弘報部長

秘第二四三號

昭和十七年五月十六日

在杭州

領事 田中 繁三

別紙添附

外務大臣 東郷 茂徳 殿

偽浙江省概况報告方ノ件

金華ヲ中心トスル偽浙江省ノ狀況ニ關シテハ客年十月三十日附機  
密第四四八號拙信稟請ノ情報啓發費ノ御支出ヲ仰イテ以來折角調  
査セシメ居リタル處本年四月ヲ以テ一ト先ツ之レヲ取纏メ別冊調  
査書トシタルニ付雜簿ナカラ一應報告申進ス  
尙各部門別ノ調査ニ關シテハ別途極秘第二四二號拙信稟請ノ情

在杭州日本領事館

0 274

269

1464

以上ヲ綜合スルニ米國空軍東京爆撃ノ意義ハ實ニ大ナリ勿論之レハ  
一ツノ小試驗ニ過キササルタメ吾人ハ決シテ驕ルヘカラス緬甸北部ノ  
戰ヒハ今正ニ酬ヲリ蘭領印度並新加坡ニ集中シタ敵ハ蠢動ノ機ヲ窺  
ヒアリ吾人ハ民主國家兵器廠ノ加速度的生産ニ依ル攻勢ト相俟テ愈  
々一致團結シ以テ忠勇ナル米國軍ニ勝ルトモ劣ラサルノ氣慨モテ如  
何ナル困難ヲモ克服シ邁進セサルヘカラス  
本信寫送付先 中支警務部長

在杭州日本領事館

0 273

267

調査部  
第六課長

1464 秘

秘第二八四號

昭和十七年六月十日

外務大臣 東郷 茂徳 殿

在 杭 州  
領事 田 中 繁 三

敵ノ情報蒐集狀況其ノ他ニ關スル件  
本件ニ關シ當館警察署長ヨリ別紙ノ通報告アリタルニ付此段報告申  
進ス  
本信寫送附先 中支警務部長

別紙添付

和拾七年六月廿參日接照

在 杭 州 日 本 領 事 館

0 276

17.6.24  
17.6.30  
17.6.24

266

1464

本信寫送附先 南大、上海

在 杭 州 日 本 領 事 館

0 275

續ノ偵支出ヲ仰キ其ノ真相ヲ究ムルト共ニ單ナル調査ニ止ラス  
調査ニ當ル支那人ヲ通シ帝國カ大東亞戰爭遂行ノ眞義ヲ傳ヘ以テ  
全面的根本和平確立ノ礎地啓發ニ資セントスル念願ヲ以テ夫々手  
配中ナリ爲念

REEL No. A-1087

杭領警高第六六四號ノ二  
昭和十七年六月五日

在杭州領事館警察署長  
外務省警部 島村 常雄

在 杭 州  
領事 田 中 繁 三 殿

敵ノ情報蒐集狀況其他ニ關スル件  
杭州憲兵分隊ニ於テハ五月中旬敵第三戰區便衣混城隊第一總隊指揮部麾下諜報回杭富組長（杭州富陽巡回組長）陳高傑（中尉）以下十名ヲ檢舉取調ヘヲナスト共ニ一面嚴重ナル郵檢ヲ實施シアルカ之等ニ依リ判明セル敵側ノ情報蒐集狀況左ノ通ニ付報告ス

在杭州日本領事館

記

一、取調ヘニ依リ判明セル狀況

1、情報蒐集ノ手段方法

今次作戰ノ兵站中心地タル杭州驛、南星橋並開口一帶ニ煙草行商人並人力車夫等ニ變裝セシメタル情報員九名ヲ潛入セシメ右情報員ハ各所ニ於テ部隊苦力等ニ接近煙草等ヲ與ヘ好感ヲ買ヒ或ハ自己ニ於テ見聞シツツ部隊ノ兵力、裝備輸送狀況並糧秣彈藥ノ集積地等ヲ聽取探查シアリタリ

2、通信連絡ノ手段方法

前記諜報員九名ハ杭縣富陽附近ニ在ル第一總隊指揮部諜報係長陳忠禧ナル者ヘ連絡ノ爲杭州市内茶問屋ニ諜報團ヲ密接セシメ入手ナル情報ハ茶葉商人ニ偽裝セシメタル情報員ヲシテ杭州龍井（杭州西方十一軒）ノ固定連絡所ニ口頭提報シ同所ヨリ毎月三回情報記録ヲ作製前記指揮部ニ定期的ニ報告シアリタリ

在杭州日本領事館

271

1464

四二〇	浙江省嵊縣某門	劉景時	長興安天	前略 最近公路ノ破壞ニ取掛ツテ居マス 若シ戦斗カ始マレハ避難ノ爲困難 トナリマス 嵊縣永康間ノ公路ハ既ニ徹底破壞 ヲサレマシタソウデス約三百里ニ テ自動車デ約半日要シタノカ歩行 トナルト一週間ハ充分カカリマス
月日	發信者	發信者	信者	内容要旨

二、郵檢ニ依ル敵地ノ狀況

ナリ  
ヘ、日軍ノ攻撃進路ハ富陽方面ト紹興蕭山ノ正面ヨリノ二方面  
ヨリナルモノノ如シ  
ト、杭州城内ノ日軍ハ兵力寡少ニシテ城内一部ハ支那側警察カ  
擔任シアリ  
チ、笕橋飛行場ニ相當數ノ飛行機アリテ連日杭州上空ヲ飛行シ  
アリ

在杭州日本領事館

0 280

270

1464

3、探查蒐集シ提報シタル情報

イ、情報員カ本部ニ報告セル日本軍關係ノ情報左ノ通ナリ  
昭和十六年十月中旬杭州驛ニ約五百名ノ日軍到着セルモ大部  
ハ初年兵ニシテ杭州城内ニ二、三日滞在シ各地警備隊ヘ配屬セ  
ラレタリ

ロ、四月廿九日ヨリ五日間杭州市南星橋ニハ毎日約五千名ノ日  
軍到着シ大半ハ錢塘江ヲ渡江蕭山、紹興方面ヘ移動セリ

ハ、日軍ハ今次作戰ヲ清郷工作ナリト宣傳シアルモ之ハ偽備ニ  
シテ金華方面ノ作戰ナリ、兵力等ヨリ考察スルニ重慶迄進撃  
スルモノノ如シ

ニ、杭州市開口元之江大學ニハ日軍約壹萬駐屯シアリテ五月五  
日頃ヨリ逐次錢塘江ヲ渡江同八日頃ニハ大半渡江ヲ終了セリ

ホ、杭州市鳳山門外元中國兵舍跡ニハ兵器彈藥糧秣等約二ヶ月  
分集積シアリ且連日貨車三、四回ツツ入庫シアリ、警戒ハ手薄

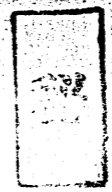
在杭州日本領事館

0 279





274



杭州

1464

秘第三〇五號

昭和十七年六月二十五日

在杭州  
領事 田中 繁三

外務大臣 東郷 茂徳 殿

蔣介石ノ來浙督戰ニ關スル件

進ス  
本件ニ關シ當館警察署長ヨリ別紙ノ通報告アリタルニ付此段報告申

本信寫送付先 中支警務部長

外務省

(日本標準規格 B5)

0 283

REEL No. A-1087

0089

アジア歴史資料センター

276

1464

モノニアラス宜シク敵ノ企圖ヲ破碎シ日軍ニ多大ナル打撃ヲ與フルナリ  
 サレハ吾人ハ特ニ徹底抗戰繼續ヲ叫フモノニシテ敵ノ一步深入スルハ一步死地ニ近ツクコトナリ  
 今後各戰場ニ依リ如何様ニモナルモノトシ過去數日間敷地區ニ日軍進犯スト雖モ何等抗戰々略ニ動搖ヲ來タスモノニ非ス各員益々奮闘アラシクコトヲ望ム

(日本標準規格 B5)

0 285

外務省

275

1464

杭領警高第七八九號ノ二

昭和十七年六月二十四日

在杭州領事館警察署長  
外務省警部 島村常雄

在杭州領事 田中繁三殿

蔣介石ノ來浙督戰ニ關スル件

諜報者ニ依レハ五月二十九日頃蔣介石ハ白崇禧ヲ伴ヒ浙東戰線ニ來リ作戰ヲ指導スルト共ニ左記ノ如ク督戰談ヲ發表シ前線將士ノ士氣ヲ鼓舞シタル模様ニ付何等御參考迄報告ス

記

最近日軍ハ各戰線ニ蠢動ヲ開始シ殊ニ浙東浙西方面ハ激戰ヲ極メテリ然シ乍ラ我々ハ如何ナル狀況ニ置カレテモ決シテ敵ニ勝利ヲ讓ル

(日本標準規格 B5)

0 284

外務省

REEL No. A-1087

アジア歴史資料センター

278

1464

「苦肉ノ策ヲ弄シ  
東條カ選擇買入レタ「新豚子」(衆議院議員ヲ指ス)記」  
敵國ノ議會ハ兩院制ニシテ一ツハ貴族院一ツハ衆議院ナル。貴族  
院議員ノ大部分ハ終身職ナルカ只全國ノ多額納稅者中ヨリ選出セ  
ラレタ議員ニハ任期カアル。  
衆議院議員ノ任期ハ四年ニシテ四年毎一回改選シ全國ノ有選舉權者  
カ議員ヲ選出スルノテアル。現在ノ衆議院議員ハ一九三七年ノ選出  
テ一九四一年三月末ニ滿期トナルカ戰爭ノ爲一年延長シタノテ今年  
ノ三月末ニ至リ東條英機ハ獨裁政權樹立ノ爲改選スルコトニ決定シ  
タノテアル今回ノ衆議員ノ總選舉ニハ大政翼贊會ニ比較的活動ノ餘  
地ヲ與ヘ東條ハ大政翼贊會ニ翼贊選舉委員會ナルモノヲ組織セシメ  
此ノ委員會ヲシテ總選舉ニ當ラシメタ。換言スレハ同會ノ手ヲ通シ  
民選ヲ買収シ政府指定ノ議員ヲ選舉サセタ此ノ點吾々ハ十分ニ注意  
スヘキテアル。

在杭州日本領事館

0-287

敵情  
277度

調査部第五課長

1464

弘報部長

調査部第六課長

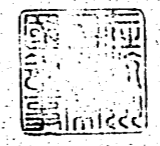
昭和拾七年九月拾五日

秘第四〇九號

昭和十七年九月二日

在杭州

領事 田中 繁三



外務大臣 東條 英機 殿

抗日新聞ノ我方總選舉狀況掲載文譯報ニ關スル件

本件ニ關シ當館ニ入手セル敵紙浙西日報(六月三十日附)上ニ我方  
本年度總選舉ニ關シ東條首相並我方政府ヲ揶揄セル一文掲載シアリ  
タルニ付左記ノ通御參考迄此段報告申進ス

記

在杭州日本領事館

0-286

右ノ様ヲ事實ハ過去二十回ニ亘ル總選舉ニアツテ始メテアリ政府  
 自ラ當ツタコトハ稀デアツタ。議會成立後第一回ノ選舉ヲ除ク外政  
 府ハ幕裏ニ在ツテ政府黨ニ援助シ絶對ニ民衆ノ前ニハ出ナカッタカ  
 今回ハ非常ニ變ツタ。翼贊委員會ハ大政翼贊ノ別動隊ヲノテアル又  
 翼贊會ハ内閣ノ支店ヲモ在ルノテアル。  
 選舉ニ對スル政府ノ干涉ハ非常ニ顯著デアル。  
 話ニ依レハ今回ノ總選舉ニ選舉權ヲ有スル者ハ一千四百九十五萬一  
 千七百五十三名ニ達シ一九三七年ノ總選舉ニ比ヘ三十三萬二千四百  
 五十五名ノ増加ヲ示メシタ現在敵國ノ人口ヲ自稱一億ト言フ計算カ  
 ラスレハ有權者ハ七人ニ一人ト言フ割合ニ當ル。敵國選舉歴史カラ  
 見レハ毎回ノ總選舉ニ政府黨ハ必勝デアルカラ今回ノ結果モ想像出  
 來ル。  
 三月ヨリ翼贊選舉委員會カ候補者ノ指定ヲ開始シ四月五日ニ該委員  
 會ヨリ候補者四百六十四名ヲ推選シ四月十日四名ヲ増加合計四百六

在杭州日本領事館

十八名トナツタ最近ノ報告ニ依レハ今回選舉ノ選出定員數ハ四百六  
 十六名ニシテ現在候補者ハ一千八十四名トナリ定員ノ二倍トナツタ  
 一千八十四名中翼贊會選舉委員會ヨリ指名サレタ候補者四百六十八  
 名ヲ除ク外ノ六百十六名ハ非指名デアアルソシテ此ノ非指名候補者ハ  
 所謂新人ニシテ以前議員ニ當選シタコトナイ者達ハカリタ此ノコト  
 ハ最モ注目ニ値スル處デアル。  
 指名候補者ノ内三百六十六名ハ現任議員、六十七名ハ前任議員デア  
 ル。  
 政黨方面所謂以前ノ政友會民政黨、社會大衆黨、國民同盟、東方會  
 等々ハ皆壓迫サレテ解散シテシマツタ。大政翼贊會ノ組織スル翼贊  
 議員同盟外法律上政黨ト稱スルモノハ無キ事ニナル譯デアル。然  
 シ今回ノ非指名候補者中ノ一部分ハ翼贊選舉委員會ノ別動隊ニシテ  
 其ノ他ノ大部分ハ恐ラク政府反對ノ人物デアル。  
 今回翼贊選舉委員會ノ指定シタ候補者中舊民政黨總裁町田忠治、前

在杭州日本領事館

手抄  
282  
杭州

調査部第五課  
1464

秘第四二七號

昭和十七年九月七日

弘報部長

調査部第六課長

昭和拾七年九月廿五日接受

調五六  
17.9.25  
庶務

在杭州

領事 田中繁三



外務大臣 東條英機 殿

「日蘇開戦ノ前」ト題スル抗日新聞譯報ニ關スル件

當館ニ於テ入手セル抗日紙浙西日報（浙江省於潛縣浙西機關紙）七月廿八日ヨリ二日間ノ紙上ニ「日蘇開戦ノ前」ト稱スル題下ニ抗日記事ヲ登載シ在リタルカ其ノ内容ヲ檢スルニ今次浙贛作戰ノ慘敗湖塗策トシテ北方ノ急事態ニ依ル日本ノ不利ヲ指適シ以テ民心ノ收攬

在杭州日本領事館

0. 291

1464

政友會總裁久原房之助、前國民同盟總裁安達謙藏等ノ如キハ必ス指名ノ例ニナツテキルソレハ所謂面子ヲ立テル爲テ現閣員中ノ農林大臣井野碩哉等ノ如キモ指名候補者ニ推サレテ居ル。敵國ノ法制ハ閣員兼衆議員ハ何等支障ナク、人物トシテ最モ不相應ト思惟セラレル外交官中ノ最右翼白鳥敏夫、軍人トシテ最モ不相應橋本欣五郎等ヲ指名候補ニシタ東條ハ獨裁政權樹立ノ爲此等ノ人々ニ祭リ上ケラレタルコトヲ非常ニ満足ニ忍ツテキル、然シ日本ノヒトスラト自稱シテキル中野正剛カ今回ノ指名ニ洩レタコトハ意外ノ感ニ打タレル或ハ中野領袖ノ慾望カアマリ大キ過キタ爲東條カ少々旋毛ヲ曲ケタノカモシレナイ。吾々ハ現在指名セラレタ候補者カヲ推シテ考ヘレハ今次選舉ニ依リ選出サレタ衆議院議員ノ大半ハ東條ノ走狗テアル又軍部ニ追従スル虫テアル現在ノ敵國衆議院ハ名實共ニ獨裁政治ノ附屬機關ト變ツタ本信寫送付先 南大 上海 中支警部部长 以上

在杭州日本領事館

0. 290

289

1464

譯文

日蘇開戦ノ前

一、日本ハ本當ニ惜シイコトヲシタモノタ最初日本空軍ノ首腦部ハ又モヤ將棋ノ駒ヲ置間違ヘタ彼等ハ何故此ノ二三ヶ月來死力ヲ盡シテ吾等ノ浙贛鐵道方面ニ於ケル攻勢ヲナシタカマサカ彼等ハ五ヶ年間ニ於ケル中國戰線ノ苦イ教訓ヲ忘レタノテハアルマイ且又我々中國ノ總テノ鐵道線ヲ占領シテ海上運輸ヲ陸上運輸ニ變更シヤウトシタノテハアルマイ然ラハ彼等ハ今度ノ一戰ヲ以テ一氣ニ中國ヲ包圍シテ事變ヲ解決シヤウトシタノテアルカ恐ラク之等ノ想像ハ總テ當ツテ居ナイテアロウ彼等ハ何故今度ノ戰ヲ挑シテ來タカ之ニ就テ現在ノ國際情勢ヨリ判斷スレハ彼等今次ノ進攻ハ別ニ大キナ目標カアルノテハ無ク只彼等ノ無計畫ナル自殺的行爲ニ過キナイテアロウ去ル七月十八日米國飛行隊ノ東京爆撃後日本全國ハ一齊ニ沸騰シ國民齊シク事態ノ容易ヲササルヲ覺ツタ彼等ハ

在杭州日本領事館

0 293

289

1464

ニ躍起タルモノ在リ即チ  
 一、日本軍ノ中國戰場ニ於ケル作戰ノ無意味  
 二、日本軍ノ占領地擴大ニ依ル兵力ノ分散  
 三、米國ノ連敗ニ依ル太平洋ノ危機恢復策トシテノ蘇聯ノ立場  
 四、蘇聯ニ對スル激起時期ノ示唆  
 五、世界戰局ニ於ケル同盟國最後ノ勝利  
 等ヲ舉ケ自己慰撫ニ努メアルカ之等ハ最近ニ於ケル狼狽セル敵側ノ内情ヲ窺知シ得ヘキ資料ト推セラルルヲ以テ御參考迄別添ノ通譯出此段報告申進ス

本信寫送付先 南大 上海 中支警務部

在杭州日本領事館

0 292

286

根據地ハ完全ニ占領サレテキタイコト等ヲ銘肝スヘキテアロウ  
 例ヘ中國及米國ノ總テノ日本本土爆撃根據地カ彼等ニ依ツテ完全  
 ニ占領又ハ潰滅サレタトシテモ彼等ハ之ニ依ツテ枕ヲ高クシテ眠  
 ルコトハ出來ナイノテ在ル、彼等ハ完全ニ考ヘ違ヒヲシテキタノ  
 乍併ラ冷靜ニ之ヲ云ヘハ米機ノ日本本土空襲ハ其ノ効力ニ於テ甚  
 タ微弱サヲ持テ彼等ヲシテ極度ノ苦痛ヲ感セシメテカツタデアロ  
 ウ其ノ原因ハ即チ  
 第一、米海軍カハワイ或ハオラン港ヲ根據地トシテ日本海岸ノ爆  
 撃可能地ニ到着スル迄ニ最少十日以上ヲ要スルノテ在ル此ノ期間  
 ニ於テ米軍ハ又常ニ日本軍ノ攻撃目標トナルノテアル故ニ其ノ行  
 動ハ極メテ拘束サレルノテ在ル  
 第二ハ毎次ノ出動母艦ノ數量及艦上搭載機ノ數量並出動艦隊等ノ  
 數量等ハ必然的ニ輕減サレタルヲ得ナイノテ在ルカラ此レニ依ル

在杭州日本領事館

285

彼ノ「ホワイト、ハウス」ノ主人公ノ語ル所謂流星式爆撃ヲ受ケ  
 タラハ此ノ海中ノ一小島ハ一面赤裸ニナツテ仕舞フテアロウト  
 既ニ安閑トシテ居ラレ無イ氣持ニナリ切ツタノテ在ル  
 其處テ此ノ窮餘ノ一策カ今次浙贛作戰トナリ彼等ハ逸早ク蘭谿ヲ  
 中心トスル我方ノ空軍根據地ヲ占領シタコトヲ在ルコトハ此ノ戰  
 後ノ状態カラシテ明カニ分ルコトヲ在ル其ノ次ハ即チ「アリユ  
 シヤン」群島ノ占領ヲ在ル今度米機ノ爆撃カタトヘ航空母艦ヨリ  
 來タモノトシテモ「ツンド」島並「アリユシヤン」群島ハ明カ  
 ニ今次ノ空襲ノ根據地ニ在ル隨ツテ彼等トシテ見レハ此ノ二ヶ所  
 ノ海洋根據地及中國ニ於ケル陸上空軍根據地等ヲ占領又ハ破壊シ  
 タラハ米機ノ日本本土空襲ノ企圖ハ挫折スルモノト思ツテ居ル  
 テアロウ  
 然シ乍ラ彼等ノ此ノ想像ハ完全ニ間違ツテキル吾々ハ今日日本カ  
 「ツンド」島ニ於テ完全ニ敗戦シタコト及我國ノ日本本土空襲ノ空軍

在杭州日本領事館

287

日本本土攻撃ハ當然限ラレタモノトナルノデアアル  
 第三ニハ中國ニ於ケル總テノ沿海飛行基地ハ日本軍占領地ヨリノ  
 爆撃圈内ニ在リ非常ニ不利ヲ占メテ居ルノテ在ル  
 以上三點ヲ指適スレハ稍我方ノ劣勢ヲ暴露シタカノ様テ在ルカ此  
 レハ早計テ在ル、何故ナレハ浙東ニ於ケル彼等今次ノ行動ハ一種  
 ノ妄動ニ過キナイコト及海陸空ノ三方面ヨリスル大作戦ノ爲想像  
 以上ノ巨大ナル人及物ヲ損失シ正ニ致命傷ヲ負ツタノテ在ル然シ  
 其ノ委細ニツイテ吾々ハ暫時之ヲ述ヘマイ要スルニ彼等今次ノ作  
 戦的錯誤ハ別ノ方面ニ於ケル有利ナル戦闘ニ對シテ時間的錯誤ヲ  
 來サシメタルコトハ疑ヲ入レナイコトデアロウ、其ノ顯著ナル例  
 トシテハ先ツ北方ニ眼ヲ轉スルコトカ出來ルノテ在ル  
 (文字不鮮明ニツキ中略)  
 若シ歐洲ニ於ケル第二戦線カ事實トナレハ蘇聯ノ遠東ニ於ケル立  
 場カ例ヘ如何ニ困難ナル環境ニ在ツタトシテモ必ス對日作战ヲ發

在杭州日本領事館

288

動セシメスニハ置カヌデアロウ最低限度ニ於テ米海空軍ノ基地ト  
 シテ浦鹽斯德ヲ提供スル然ラハコレニ依テ對日作战ニ参加セサル  
 ヲ得ナイヤウニナルコトハ確實テ在ル、理由ハ甚々簡明デアアル英  
 米ノ歐洲ニ於ケル第二戦線ノ決定カ遲々トシテ進マヌ非常ヲ考慮  
 ト精密ナル計畫ニ時ヲ過シテ居ルコトハ即チ此ノ戦線ノ決定カ世  
 界ノ戦局ニ及ス決定的作用ヲ證左スルモノデアツテ若シ夫レカ  
 實現シタトスレハ日獨ニ對スル同盟國ノ反抗ハ必ス死力ヲ盡シテ  
 必勝ヲ期スルモノトシテ現ハレルデアロウ加之樞軸國ハ相互ニ呼  
 應シ作战ヲ開始スルデアロウカラ若シ其ノ時蘇聯カ直ニ對日抗戰  
 ニ移ラストモ樞軸國ハ必ス蘇聯ニ對シテ攻撃ヲ開始スルデアロウ  
 本月廿一日ノロンドン電ニ因レハ日本ハシベリア邊境ニ於テ既ニ  
 師團及四十師團ノ大軍ヲ集中シ對蘇進攻ノ戰略的準備ヲ完了シ  
 タコトト云ハレル近來日本ノ中國戰場ニ於ケル兵力カ漸次他ニ轉  
 用サレテ居リ浙贛戦線ニ於ケル日軍大部隊モ目下既ニ他方ニ轉用

在杭州日本領事館





289

サレテ居ルコトト照合スレハ彼等ノ他ノ重大ナル局面ニ對スル作  
 戰準備カ漸次赤裸々ニナリツツアルコトヲ知ルテアロウ、今迄ノ  
 所歐露ニ於ケル獨軍ノチモシエンコ部隊ニ對スル壓力ハ日々ニ加  
 重サレツツアルヤウデアアル、然シテ蘇聯紙ハ目下蘇聯ノ興亡ハ此  
 ノ一戰ニ在リト前線ノ將士及後方ノ民衆ニ對シテ各自其ノ全力ヲ  
 盡シテ抗戰ニ協力スヨト強調シテ居リ其ノ狀態ハ甚々緊迫シツツ  
 アル様テ在ルカ日本ハ惜シムラクハ今次獨國ト共ニ蘇聯ヲ狹擊ス  
 ル機會ヲ失ヒ蘇聯ヲシテ更ニ困難ナル局面ニ遭遇スルコトヲ免レ  
 シメ一方同盟國タル獨國ヲシテ充分ナル準備ト作戰ノ配置ヲ採ル  
 暇ヲ得サラシメタコトハ日本トシテ最大ノ失策デアツテ日本ノ二  
 ケ月前ニ於ケル浙東戰場ノ即チ對支作戰ハ最モ愚ナルモノナルコ  
 トヲ證明スルモノデアアル

本月廿三日ロイター、ワシントン發電ニ依レハ蘇聯大使ハ目下「  
 ホハイト、ハウス」ニ在ツテ「ル」大統領ト會談中ト傳ヘラル、

在杭州日本領事館

290

該大使ハ「ル」大統領ニ對シテ第二戰線結成ニツキ德意シテ居ル  
 ト觀測シテキルカ同日ノ「ロンドン」電ニ依レハ蘇聯大使ハ大統領  
 領ヲ訪問ノ後引續キ米國第一軍航空部隊司令長官「ベルトライ」  
 少將ヲ訪問會談ヲ遂ケ又「ベルトライ」少將ハ命ヲ受ケ近日中ニ  
 蘇聯ニ赴クト傳ヘテキル、若シ吾々ノ觀測カ神經過敏テハ無イト  
 スレハ其ノ舉ゴソ歐洲ニ於ケル第二戰線決定後次ニ來ルヘキ米蘇  
 聯合ニ依ル對日作戰ノ最初ノ具體的表現ヲ無クテ何テアロウ、即  
 チ蘇聯カ一旦對日作戰ヲ開始シタラハ先ツ最初ニ制空權ヲ把握  
 スルコトカ必須テ在ル然ルニ蘇聯空軍ノ遠東ニ於ケル實力ハ日本  
 ヲ及鮮滿各地ノ日本空軍ヲ制壓スルニハ甚々其ノ力量ヲ缺イテ  
 キルノデアツテ若シ「先ニスレハ機ヲ制ス」ノ諺ノ通り蘇聯カ機  
 先ヲ制シテ日本ヲ攻撃シタトシテモ結局ハ日本空軍ニ制壓サレテ  
 仕舞フ事ハ明カテ在ル、故ニ此度ノ「ベルトライ」少將ノ訪蘇ハ  
 吾々ノ觀察ニ依レハ米蘇空軍ノ遠東ニ於ケル協力作戰ニ深イ關

在杭州日本領事館

291

係ヲ有シテヨルモノヲ在ツテ蘇聯モ必ス今次ノ「ベルトライ」少  
 將ニ期待スル所大キイモノト思ハレル  
 現在米國ノ對日作戰ニ於ケル最大ナル困難ハ距離ノ遠キコトニ在  
 ルカ一方日本ハ隨時兵力ヲ集中シテ米領ノ太平洋上ニ於ケル各島  
 嶼ヲ攻撃スルコトカ出來ルノテ在ル然シテ米國ハ一所或ハ數所ノ  
 中心的島嶼ヲ利用スルトシテモ大規模ナル對日襲撃ヲ行フコトハ  
 不可能ナル若シ中國大陸ヲ利用スルトシテモ其ノ運輸上甚タ困  
 難ヲ感スルデアロウ如斯作戰上ノ不利ハ只蘇聯ノミカ之ヲ補フコ  
 トカ出來ルノテ在ル蘇聯ノ「カムチャツカ」半島ノ「テトロホ  
 スク」及樺太ノ「アレキサントルスク」及沿海州ノ「ボク」並浦  
 鹽斯德等ハ特ニ理想的ナル根據地ニ在ル、蓋シ蘇聯ハ浦鹽斯德要  
 塞ノ設備ニツキ既ニ相當ノ力ヲ致シテ居リ港内ニハ強大ナル海陸  
 空等ヲ擁シ特ニ潜水艦魚雷等ノ配置ハ注目スヘキモノカ在ル從來  
 ヨリ「潜水艦第一主義」ヲ以テ進ミキタル蘇聯ハ此地ヲ根據地ト

在杭州日本領事館

292

シテ日本海乃至中國沿海ニ於テ敵軍ニ對シテ有力ナル打撃ヲ與ヘ  
 ルコトカ出來ルデアロウ、亦若シ此ノ根據地ヨリ空軍ニ依ル日本  
 空襲ヲ行ツタナラハ新式空襲ノ要塞ハ僅カニ時間ヲ以テ日本ノ東  
 京、京都、大阪、名古屋、横濱、神戸等ノ六大都市ヲ爆撃スルコ  
 トカ出來ルノデアアル如斯毎日二回乃至四回ノ日本々上空襲ハ極メ  
 テ容易ナルテ在ル然シテ日本ノ浦鹽斯德ニ對スル脅威モ決シテ  
 輕視スヘキモノテハナイ、例ヘハ吉林省ノ東寧ヨリ直接浦鹽斯德  
 ノ背後ニ在ル双城市ヲ攻撃スルコトカ出來ル亦虎林ヨリ出撃スレハ  
 直接「イーモ」脅威シボクヨリ浦鹽斯德ニ至ル交通線ヲ制壓スル  
 コトカ出來ルノデアアル、此外日本軍ハ滿洲里ノ以西ヨリ「シベリア  
 鐵道地帯」ヲ攻撃スルトセハ直接沿海全州ニ對シ脅威ヲ與ヘルコト  
 カ出來ルノテ在ル、其上地形上ヨリ見テモ「シベリア」ト滿洲ノ境界  
 ハ四千四哩ニ達シ其他錯雜セル國境線ハ皆日蘇双方ノ一觸即發ノ  
 導大線タリ得ルノテ在ル

在杭州日本領事館

294

1464

ツツ在ルノテアツテ誠ニ輕視スヘカラサル事態トナツテ居ルノテ  
 在ル、要スルニ日本ノ對蘇作戰ハ蘇聯ノ對日作戰ノ必要ヨリモ更  
 ニ緊迫シテ居ルノテ在ツテ故ニ其ノ作戰準備ハ蘇聯ノソレヨリモ  
 更ニ顯著テ在ル、日本ハ最近ニ於テ幾分時間上ノ機會ヲ失シタノ  
 テ在ルカ蘇米ノ遠東ニ於ケル行動カ未タ日本ニ對シテ時期ノ運用  
 ノ機會ヲ失セシメテ居ナイコトヲ知ルニ至ツタノテ在ル日本カ若  
 シ對蘇作戰ヲ開始スルナラハ恐ラク其ノ全力ノ限リヲ盡シテノ所  
 謂即戰即決主義ヲ最善ノ方策トナステ在ラウ故ニ其レカ爲ニハ中  
 國ノ東南ニ於ケル大兵力ヲ撤退セシメ甚々シキハ長江以南ノ全占  
 領地域ヲ放棄スルコトサヘ惜シマナイテアロウ  
 然ルカ故ニ吾々ハ世界全体ノ戰局ノ前途ヨリ見テ現在日本軍ノ中  
 國戰場ニ於ケル作戰地域ノ擴大コソ中國ノ泥沼ニ更ニ兩足ヲツキ  
 込ムコトトナリ吾々トシテハ願ツテモ無キコトテ在ル

以上

在杭州日本領事館

0 303

293

1464

如斯狀勢ハ明ニ蘇聯ノ防禦ニツキ極メテ困難ヲ伴フコトヲ示シテ  
 居リ、若シ此ノ兩國ニ一旦戰端勃發シタトスルナラハ彼等双方ハ  
 互ニ機先ヲ制シテ優勢ヲ確保セント電擊的作戰ニ出ツルテアロウ  
 蘇聯ノ遠東ニ於ケル根據地ハ米國ノ對日戰略上重要ナル功顯ヲ爲  
 スコトハ既ニ上述ノ如クテアル然シテ今日浦鹽斯德ノ運命ハ當ニ  
 危胎ニ瀕シツツアルトキ米蘇ニシテ若シ之ニ緊急有効ナル措置ヲ  
 講セヌハ恐ラク近キ將來ニ於テ第二ノシンガポールトナルコトハ  
 吾人ノ贅言スル迄モ無イ、若シ蘇聯カ浦鹽斯德ヲ失ツタトセハ蘇  
 聯ハ必ス敗退スルテアロウ然シテ浦鹽斯德ノ役割コソ實ニ蘇聯ノ  
 咽喉部ニ匹敵シ得ルノテ在ル  
 目下日本ハ今次ノ中國戰場ニ於ケル蠢動ノ誤謬ヲ覺リ對蘇作戰ノ  
 準備ヲ開始シツツアルヤウテ在ル即チ先ツ北太平洋ノパールツ島等  
 ニ於テ其ノ上陸作戰ニ成功シタガ今後其處ヲ基點トシテ米蘇ノ遠  
 東ニ於ケル連絡作戰ニ對シテ有力ナル監視及制壓ノ力量ヲ獲得シ

在杭州日本領事館

0 302

296

1464

一、東南日報社  
 本社ハ福建省南平縣ニ於テ機構ヲ整備シ去ル八月上旬ヨリ從來通  
 發刊ヲ開始シ在リ  
 尙部數ハ從來ノ約半數ニ減シ在ルモノノ如シ

二、正報社  
 該社ハ偽浙江省主席黃紹雄ノ命ニ依リ印刷機並職工等全部ヲ引具  
 シ指定地タル龍泉方面ノ某地ニ逃避シ現在復刊準備ヲ急キ在リ然  
 シテ該紙ハ偽浙江省政府ノ直轄機關紙タルノ觀ヲ早シ在リ

三、前綫日報社  
 現在停刊中ニシテ早急復刊ノ望ミナキモノノ如ク目下福建省某地  
 (一說建陽)ニ逃避シ在リ

本信寫送付先 中支警務部長

0 305

在杭州日本領事館

手書  
295  
杭州

1464

秘第四三〇號  
 昭和十七年九月七日

外務大臣 東條 英機 殿

在 杭州  
 領事 田 中 繁 三

敵地ニ於ケル主要新聞社ノ狀況ニ關スル件  
 本件ニ關シ從來敵側主要機關紙トシテ浙江省金華ニ在リ激烈ナル抗  
 日論說ニ狂奔シ在リタル東南日報、前綫日報、正報等ノ各社ハ今次  
 浙贛作戰開始直後發刊ヲ停止シ印刷機械共ニ夫々左記地點ニ逃避セ  
 ル事實判明セルヲ以テ御參考迄ニ報告申進ス

記

0 304

在杭州日本領事館

昭和拾七年 九月廿一日  
 17.9.25  
 庶務

298

1464

ニ散在セル正規軍ト連絡シ積極的ナ行動ニ移リ各種破壊工作ニ從事シアリ

其等ノ行動トシテ既ニ顯著ナルモノハ龔ニ嘉興、嘉善縣境界ヨリ鐘樓附近一帯ニ亘リ防禦工事ヲナシタル柵ヲ破壊セリ

以上ノ如キ狀況ニシテ清郷工作ノ進展ニ伴ヒ同隊ノ活動ハ更ニ活潑化スルモノト認メラル

本信寫送付先 南大、上海、中支警務部

在杭州日本領事館

0 307

297

1464

秘第五〇五號  
昭和十七年十月二十二日

在杭州  
領事 田中繁三

外務大臣 谷 正之 殿

浙西行署特工隊ノ平湖縣ニ於ケル活動狀況ニ  
關スル件

本件ニ關シ敵側浙西行署特工隊ノ狀況左記ノ通ニ付此段報告申進ス

記

嘉興、嘉善兩縣内ニ潛入シ活動シアル敵浙西行署特工隊ハ最近同隊約五十餘名ヲ平湖縣鐘樓鎮西方ノ大雲寺附近一帯ニ派遣シ同地附近

在杭州日本領事館

0 306